

自分史 家族を見つめる本

出版のススメ研究会

自分史づくりを体験してみませんか？

家系図や家族年表を作成したり、写真整理の作業は必要だと思っても、中々ご自身の力だけでは進みません。まずは体験して最初のスタートを切ることが大事だと考えます。また、サポートする専門家に質問が出来たり、行う順番を考えてもらうことで、よりスムーズに完成できると思います。どうぞ最初の1歩を「まなびばオクヤマ」で体験してください。

まなびばオクヤマ

毎月一回、阿多古和紙原料の収穫及び加工紙漉き体験イベントやワークショップを開催しています。皆様のご参加をお待ちしております！

- ・自分史づくり体験
- ・楮原料づくり体験
- ・手漉きハガキづくり体験
- ・手漉き名刺づくり体験 等

まなびばサイト：<https://www.manabiba-okuyama.com/>

お問い合わせ先

株式会社 出版のススメ研究会
代表取締役 前田 浩
〒431-2224
静岡県浜松市北区引佐町奥山678-3
TEL/070-5541-3296
syuppannosusume@gmail.com

いつでもお気軽に
ご相談ください！

自分史とは

「自分史」とは、自分と家族の歩んできた、人生の記録です。生い立ちや、人生の軸になるような、一生懸命に行ってきたこと、思い出の写真等を1冊にまとめ、次の世代に伝えるための書籍です。

次の世代へと読み引き継がれ、先代の知恵や教えを知ること、自分のルーツを紐とくカギとなります。

阿多古和紙とは

静岡県浜松市天竜区・阿多古にて500年もの歴史を持つ、伝統和紙。阿多古では和紙の原材料(楮、三桮、雁皮)が多く自生し、古くから和紙づくりが伝えられてきました。一枚一枚力強く丁寧に手漉きされた和紙は、素朴で味わい深く、高い耐久性があります。かつては65軒も作っていたという阿多古和紙ですが、現在の継承者は「大城忠治」氏だた1人。地域文化資源を守り、継承するためにも、阿多古和紙の新しい活用法を模索する必要があります。



大城忠治 氏

阿多古和紙紙のただ一人の継承者。89歳。この紙漉きの技を後世に遺したいと元気に活躍しています。車一台がやっと通ることができるほどの、細い山道を登った頂上に工房と家がある大城氏は毎年、地元の小中学校で紙すき体験の指導を行っています。



家族を見つめる本

家族に自分のことをもっと知って欲しいと思い立つとき。
自分の人生を振り返り、話すとき。
最も家族らしいと思う写真を選ぶとき。
読みながら、当時を想像するとき。
読み終り、そっと閉じるとき。
子や孫に託すとき。

「家族を見つめる本」は、家族の間で交換される様々な想いや
願いを形にするもので

